

2017.4.30 No. 44

健康・食～いのちをサポートする情報誌

I.Bヘルスケア

特別企画「変化する化粧品“トレンド”」

**プラスワンなどが新たな化粧品トレンドに
市場は微増傾向、化粧品OEMが好調**



安定性に優れた水溶性ケイ素 ヘアケア・スキンケアなど幅広く展開

(株)APAコーポレーション

ケイ素市場におけるパイオニア的存在である同社は、「水溶性ケイ素[umo]濃縮水溶液」の製造・卸販売と、エビデンス取得に専念する。同原料はスキンケアを始め、ヘアケア、入浴剤などで使用実績があり、健康食品・化粧品・エステティックサロンなどへの導入が進む。

ケイ素市場150億円で トップシェアを誇る

同社は、安定性、機能性に優れた水晶抽出「水溶性ケイ素[umo]濃縮溶液」(製造特許取得済)の製造・卸販売と各種分析を行う。ケイ素業界ではパイオニア的存在である。生産能力は年間約600トン。推定150億円と言われるケイ素業界でトップシェアを誇る。同社が製造する「umo濃縮溶液」は、水晶石を2,000℃で燃焼し、溶解窯でガス化させたケイ素成分を回収して特殊フィルターを使って製造する。ミネラルであるケイ素をイオン化させて水に溶け込ませているため、水中溶存ケイ素量が安定していることから需要が多い。

化粧品原料として、製品の成分表

示に必要なINCI名(化粧品成分の国際的表示名称)も「水溶性珪素umo濃縮溶液」の名で登録済み。化粧品・ヘアケア・スキンケア・ネイルケア・せっけん・デンタルケア・フェイスマスク・洗濯洗剤などに応用できる。ケイ素含有量は8,000~9,500ppmで、製品に対して1~3%を目安に配合を提案する。業務用としての販売は2L・20L単位。実績として、基礎化粧品などで使われているほか、入浴剤にも使用されている。販路は、健康食品・化粧品企業、エステティックサロンなどを中心とする。

エビデンス取得に専念し 学会で発表

水溶性ケイ素[umo]原料の供給やOEMの製造とともに、同社は原料の品質管理や安定供給、普及拡大に必要な研究開発を担う。全国に約150社の原料販売の中心となる販売会社を持ち、直接の卸や販売は、これらの特定の販社に任せるといった体制を取る。同社では、類似商品との

差別化のために化粧品や食品、農業、畜産など応用範囲が広い水溶性ケイ素のあらゆる分野でのエビデンスを4大学と提携して取得中。これらのエビデンスを日本珪素医学学会や日本珪素医療研究会にて発表して、ケイ素の普及を進めている。

2008年の日本珪素医学学会の設立当時から、同社は幹事会メンバーとして運営にも携わってきた。同学会では、ケイ素に関わる医学・科学的な分野での臨床的な分析を行っている。5月には第27回学術発表会の開催を大阪で予定。このほか、日本珪素医療研究会にも参画し、ケイ素の高付加価値化に努める方針だ。

また、国境なき医師団などを支援するなど社会活動にも着手。昨年9月30日には、日本赤十字社から「金色有功章」を受賞している。

COMPANY INFORMATION

所在地：愛知県安城市石井町徳原
60-11(本社)
TEL：0566-92-6257
FAX：0566-92-6258
URL：<http://www.apa-corp.jp>
事業内容：水溶性ケイ素[umo]の原料
製造と研究開発



ケイ素配合商品群